
**令和元年度
市民活動団体実態調査**

【結果報告書】

令和元年10月

豊田市

目次

1 調査の概要.....	2
(1) 調査の目的.....	3
(2) 調査の概要.....	3
(3) 調査報告書の見方.....	3
2 調査結果.....	4

1 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、豊田市内の企業及び教育機関の社会貢献活動に対する意識や活動状況を統計的に把握し、豊田市市民活動促進計画の策定に活用することを目的として実施しました。

(2) 調査の概要

対象者	調査期間	回収状況	
		回収数	回収率
とよた市民活動センター登録団体 (283団体)	令和元年9月25日～ 令和元年10月16日	184	65.0%

(3) 調査報告書の見方

- 回答結果は、少数第2位を四捨五入した有効サンプル数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、単数回答（複数の選択肢か1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 本報告書では、設問ごとに「全体（単純集計）」の集計結果を記載しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- グラフ中の「N」とは、Number of Cases の略で、各設問に該当する回答者総数を表します。
- グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載していますが、一部、必要に応じて省略しています。

2 調査結果

令和元年度 とよた市民活動センター 登録団体アンケート調査

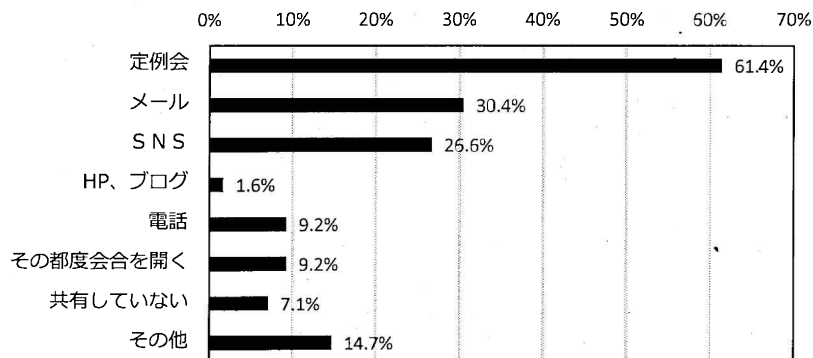
1 団体について教えてください

登録団体数	283
回答団体数	184
回答率	65%

2 情報の発信方法について教えてください

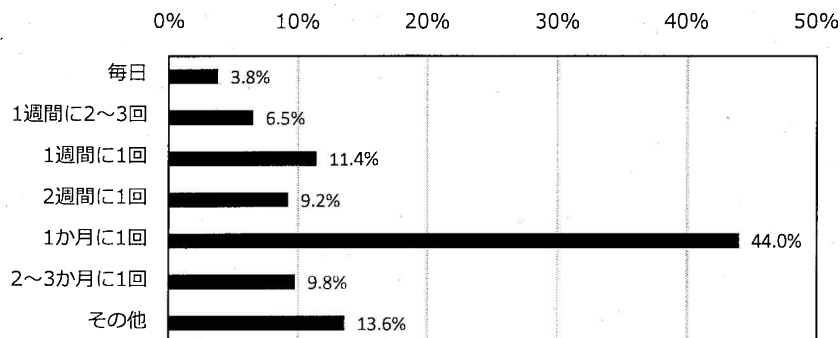
(1)とよた市民活動センターからの情報を、団体内部でどのように共有していますか？(複数選択可)

全体 (N=184)



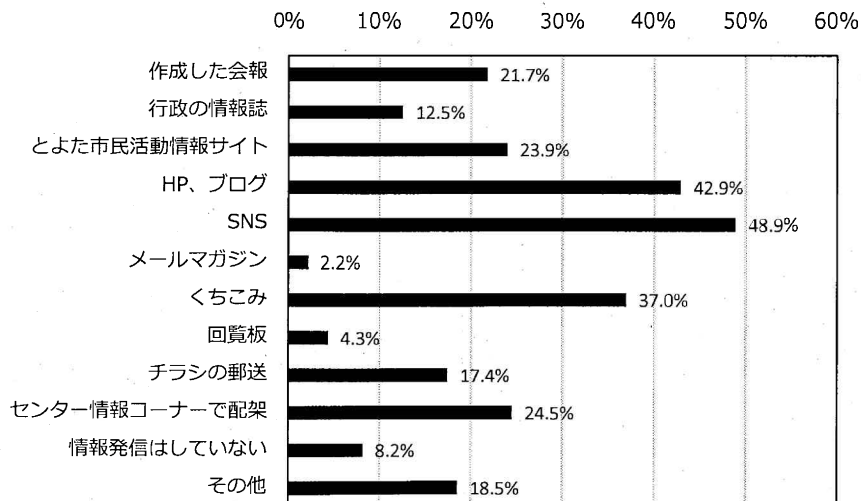
(2)どれくらいの頻度で団体内部での情報共有をしていますか？

全体 (N=184)



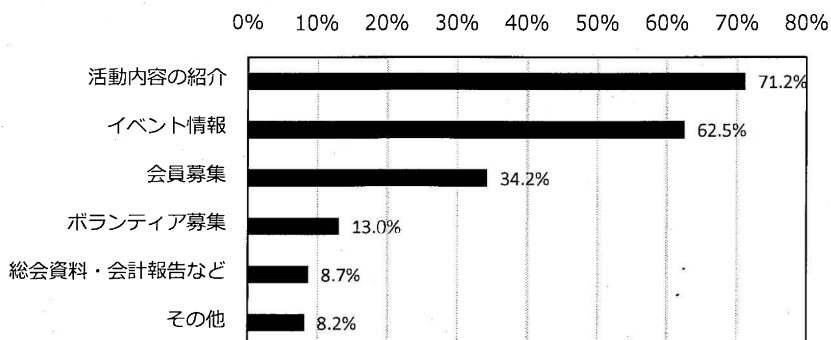
(3)団体の外部へ情報を発信するのに、活用しているツールを選択してください(複数選択可)

全体 (N=184)



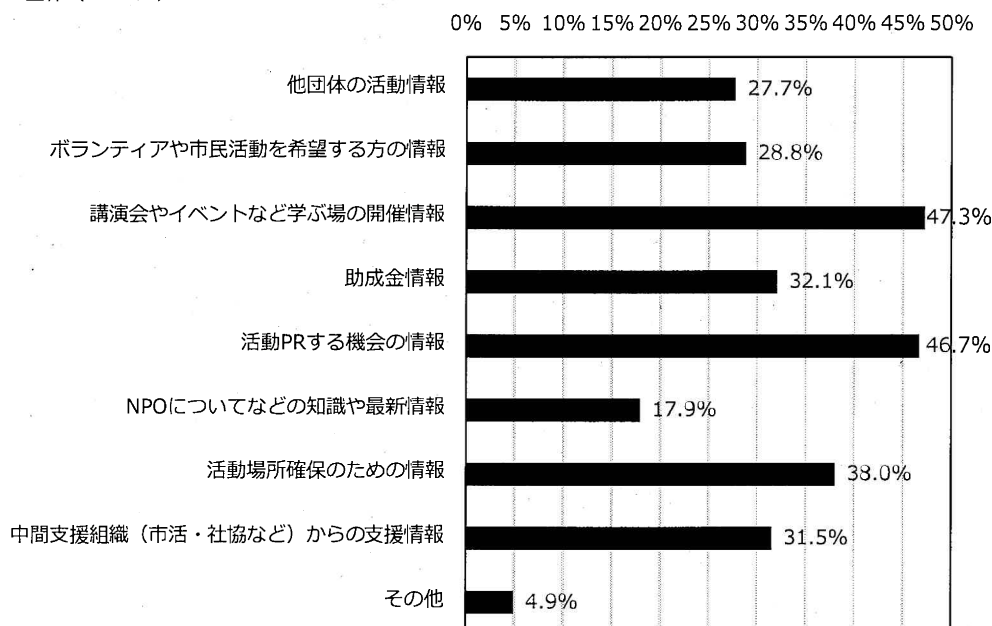
(4) どのような情報を団体の外部へ発信していますか？(複数選択可)

全体 (N=184)



(5) どのような情報が団体活動に必要ですか？(複数選択可)

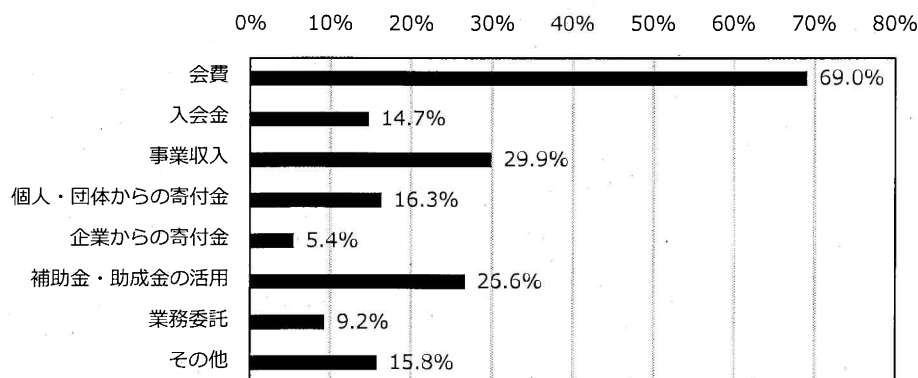
全体 (N=184)



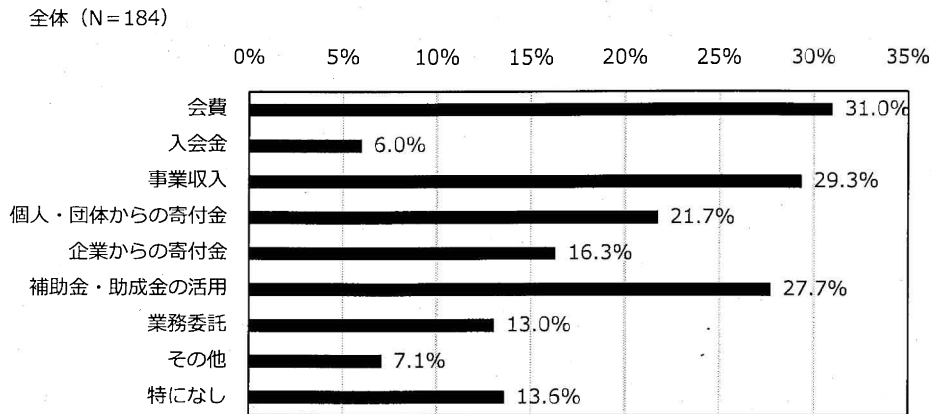
3 活動資金について教えてください

(1) 活動資金の主な財源を教えてください(複数選択可)

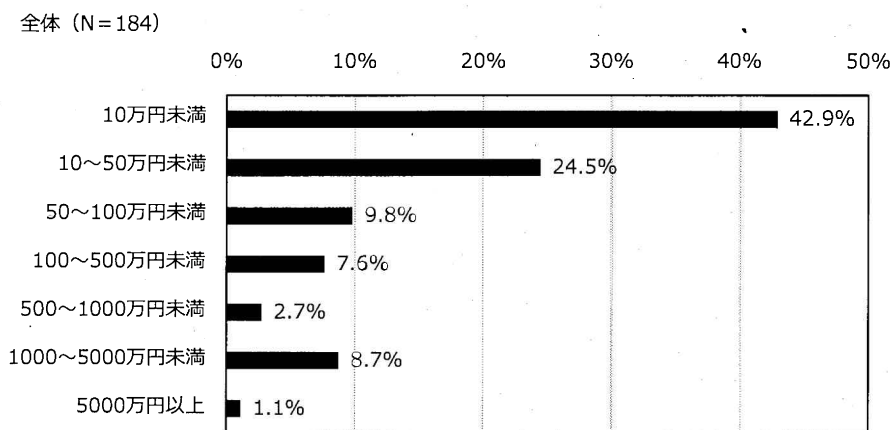
全体 (N=184)



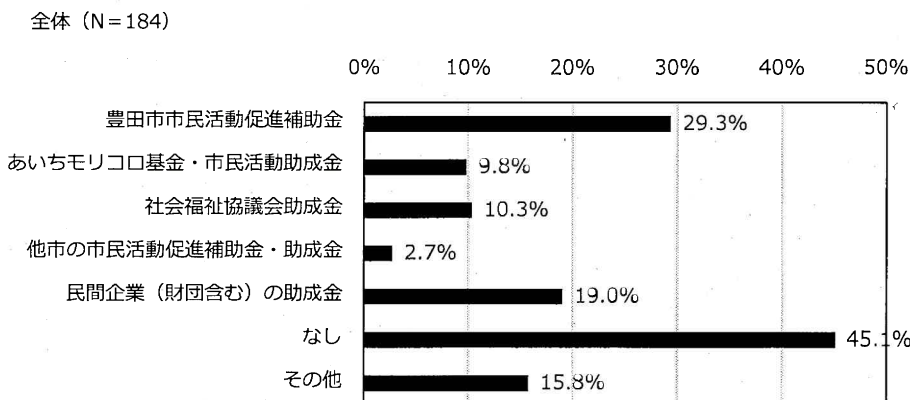
(2) 今後増やしていきたい財源を教えてください(複数選択可)



(3) 年間の財源規模を教えてください



(4) 今までに活用したことのある補助金・助成金があれば教えてください(複数選択可)



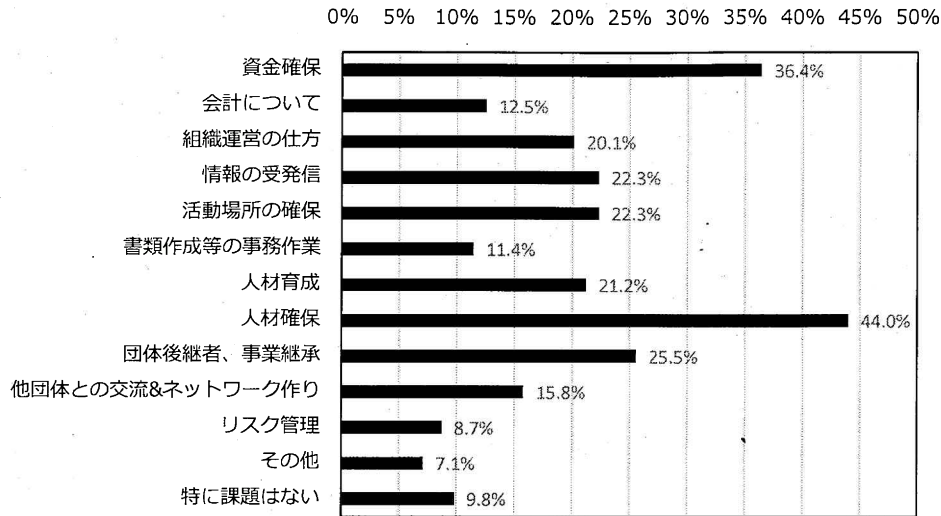
(5) 補助金・助成金を活用してどのような事業を行ったか、具体的に教えてください。

- ・講座・講演会・イベント等を開催 39
- ・備品購入・整備 26
- ・メンバーの育成(講師を招く等) 10
- ・リーフレット・ガイドブック・チラシ等を発行 9
- ・ホームページの作成 3
- ・看板・設備等の整備 3
- ・委託事業の請け負い 2
- ・就労支援活動 2

4 どのようなことが活動を継続するための課題となっていますか？

(1) 活動を継続する上で課題と感じていることについて、具体的な内容をご記入ください(複数選択可)

全体 (N=184)



a. 資金確保

- ・自己負担が大きい。
- ・寄付は安定性に欠ける。
- ・全員が有償ボランティアで活動できるようにしたい。
- ・助成金が無くなった後、どうするのか。
- ・助成金を活用しても、必要としているものが補助対象外経費であることが多い。
- ・企画がまだまとまっていない段階での助成金申請。
- ・会員が減少し、会費が減っている。
- ・講座の参加者を多く集めて参加費を増やしたい。
- ・講座に人が集まらなかった時の赤字補填が大変。

b. 会計について

- ・会計処理ができる人材の確保。
- ・夕方以降は小銭が扱えないため、通帳への入出金がしにくい。
- ・前年度からの引継ぎがある。
- ・事業費を事前に算出して計画を立てることが難しい。
- ・会計業務が煩雑で困っている。

c. 組織運営の仕方

- ・時代の流れに合わせるのが大変。
- ・役職者が固定している。
- ・子供たちの年齢が上がっていくので、毎年、それぞれの悩みが違ってくる。
- ・会員が一斉に集まる機会がない。
- ・会員同士の人間関係。
- ・ひとりでやっている状況だ。

d. 情報の受発信

- ・情報の受発信をする時間が作れない。
- ・掲載条件や枠減少で、広報とよたへの掲載が難しい。
- ・SNSを扱うことができる会員が少ない。
- ・SNSではシニアへ情報が届かない。
- ・情報収集が難しい。
- ・広告費(チラシ等の作成費)との費用対効果が少ない。

e. 活動場所の確保

- ・活動センターの予約がすぐに埋まってしまう。
- ・できれば毎回同じ曜日を確認したい。
- ・広さのある部屋を利用したい。
- ・交流館は1ヶ月前からしか予約ができず、イベントの開催が難しい。
- ・活動センター以外で部屋を借りやすい施設がない。
- ・非営利なのに、参加費を徴収することが営利と見なされ減免されない所がある。
- ・団体の備品を保管できる場所がない。

f. 書類作成等の事務作業

- ・PC作業が不得意だ。
- ・整理整頓。
- ・事業報告書等の資料作成。
- ・作業に割ける時間がない。
- ・分担ができておらず、一部の人に負担がかかっている。

g. 人材育成

- ・どのようにしたら次を担えるリーダーに育ってくれるか？
- ・正しい知識を持った人材を育成すること。
- ・一人ひとりのスキルアップ、キャリアアップが必要。
- ・講師依頼が課題。
- ・入門講座の開講頻度が少ない。
- ・活動しながらの人材育成が難しい。
- ・資格を取得するための講座参加費が自己負担になってしまっている。

h. 人材確保

- ・新しい人が入ってこない。
- ・団体のメンバーが高齢化している。
- ・子どものメンバーが年齢が上がることによって参加しづらくなっていく。
- ・ボランティア活動にモチベーションを持って頂ける人材を常時維持したい。
- ・中心核となるメンバーを増やしたい。
- ・団体の活動に理解のある人が欲しい。
- ・相談に訪れる方はみえるが、活動を共にしてゆこうと希望される方は、なかなかいない。
- ・過去に、家事都合等で退会される方も多かった。

i. 団体後継者、事業承継

- ・仕事を持つ人が多いためなかなか活動に参加することが難しい。
- ・会員高齢化による、山間地等の交流先への移動不安
- ・PC、メール、電話等会長の所有物を使用しているためすぐに引き継げない。
- ・団体を立ちあげた人が辞めるとNPOや大きな団体でない限り解散になることが多い。

j. 他団体との交流&ネットワーク作り

- ・時間がなく交流している余裕がない。
- ・色々なイベントに参画したいが情報が少ない。
- ・今後、活動を展開していくうえで、他の団体さんと協力しあえる事もあるかもしれない。
- ・自サークルが発揮される活動の場が有るかも知れない。
- ・自団体のカテゴリ以外の団体との繋がりが薄い。

k. リスク管理

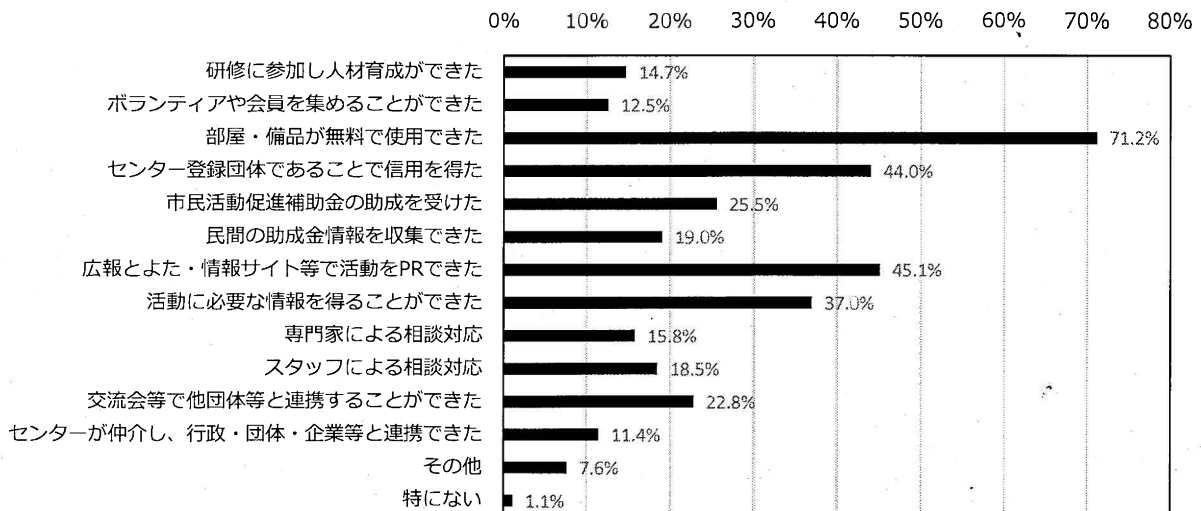
- ・事故、ケガ等の対応。
- ・病気等を抱えて不安定な人が多く、常にリスクがつかまとう。
- ・電子機器買い換えやアップデートなどで、一時期メールが滞ることがあった。
- ・SNS等便利なものはあるが、情報漏洩対策、ネットのマナー等のリスク管理まで気にかけることができないと判断して現在利用していない。
- ・ネット環境で若い人にもっとPRするにあたり個人情報保護などの課題。

l. その他

- ・私個人の健康管理。
- ・外国人利用者による異なる生活習慣及び思考。
- ・自治体が丸投げするばかりで協力をしてくれない。
- ・備品が多すぎるので倉庫が欲しい。
- ・活動を一緒にしたい人ではなく研究者、学生など、活動の成果や話を聞きに来る方への対応。行政のヒヤリングなどのため活動時間を取られる。

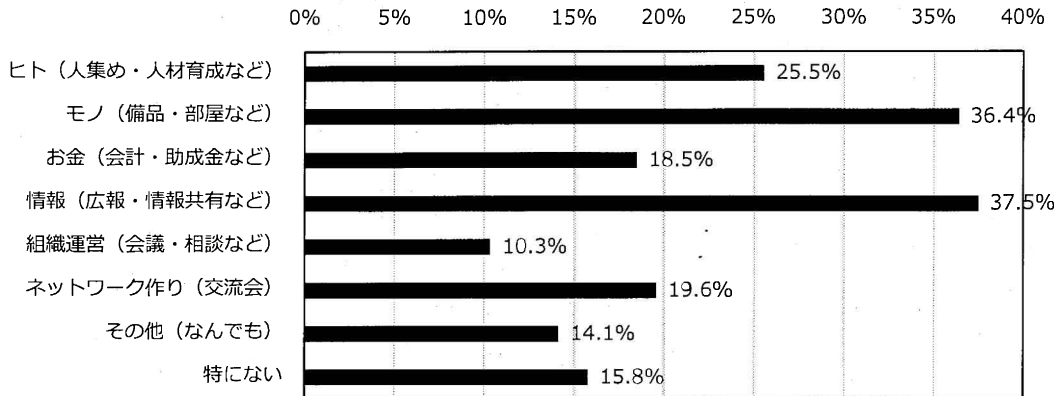
(2)とよた市民活動センターに登録して良かったことを教えてください(複数選択可)

全体 (N=184)



(3)とよた市民活動センターに期待することを教えてください(複数選択可)

全体 (N=184)



a. ヒト

- ・イベントへの参加者を集めることが毎回苦勞しているため、何か手立てがないか提案していただきたい。
- ・センターで研修を行ってもらい、会の役に立てたい。(パソコン講習会など)(会計のやり方など)
- ・代表や役員だけでなく普通の会員が集まって気楽に話せる場があると面白い。
- ・参加者の増やし方や、様々なターゲット層に向けての情報発信方法(リーチの方法)等を知りたい。
- ・センター内の施設を利用して、イベントの参加者を募集する場合、チラシの配架だけでなく申し込みの受付を可能にして欲しい。

c. お金

- ・助成金情報の提供。
- ・助成金については、手続きが簡略化できるとよい。
- ・助成金によって、活動の幅が広がった。生活困窮者の方々にもサービスしやすい。(価格設定が安価にできる)
- ・地域のわくわく事業に比べて、市民活動センターの助成金の予算が少ない。予算の倍増、3倍増を期待。
- ・会計ソフトの紹介など。

e. 組織運営

- ・一団体が悩んでどうしようもない時アドバイスを頂ける。
- ・解決に至らずとも、相談に乗ってもらえることが勇気につながる。
- ・法的手続きや運営の支援。
- ・会議や相談等で心がける事を講座で教えてほしい。
- ・組織を継続する、または運営に必要なスキルを学ぶ機会を頂けると嬉しい。
- ・NPO設立相談。

b. モノ

- ・お部屋を提供して頂けるからこそ全ての活動ができています。引き続きお願いしたい。
- ・チラシが安価に刷れる。
- ・カラーコピー機。
- ・センターが駅前で立地が良く、集まりやすい。
- ・新しいプロジェクター、PC。プロジェクターは音が出るもの。備品が古くて動画の再生ができなかったりケーブルが使えなかったりした。
- ・備品の照明を使用させていただいているが、オンオフが行いにくく扱いづらい。使用頻度が高いようなら、最新のものの購入を検討してほしい。
- ・ピアノが設置してあるとよい。
- ・体を動かしながら使えるマイクがほしい。
- ・ホールの鏡が有難い。もう少し大きいとなおよい。
- ・防音の部屋が欲しい。
- ・部屋の貸し出し時間単位を、半日単位ではなく、3H単位ぐらい、ネット予約可等に変更して、予約が容易にできるよう改善してほしい。
- ・HPにお部屋の分かる写真を一枚だけでなく、1つの部屋に2~3枚のせてくれると、分かりやすい。
- ・交流館を1か月前よりも早くに押さえることができれば大変助かる。
- ・少し前になったら、空いていれば3コマ目/日も借りられると良い。
- ・パソコンや事務用品、リサイクル品等の活用情報。
- ・活動場所周辺の倉庫、空き部屋の紹介、工具類の売買取情報など、リースできる工具などの紹介。

g. その他

- ・定期的な登録団体の情報活動の発信。
- ・市民活動情報サイトが使いづらく改善してほしい。
- ・7~8ヶ月前から施設の予約が可能になると有難い。
- ・センター以外の公共施設の施設使用料を利用するとき、センター登録団体であれば使用料免除、または現状より安くなると有難い。(産業文化センター、交流館、青少年センター等)
- ・駐車場の無料時間を長くしてほしい。
- ・ただただセンターの負担が増えていく事は悩ましい。

d. 情報

- ・大きな広報媒体(マスコミ、広報とよた、情報サイトetc)がある。
- ・広報とよたの掲載枠を増やしてほしい。
- ・チラシの配架をして頂けて助かっている。
- ・「とよた市民活動ガイドブック」を見ての演奏依頼がよくある。有り難い。今後も継続をお願いしたい。
- ・センターに登録してから、ホームページを見て連絡される方が一気に増えた。数分の動画掲載ができれば見た人がより理解できると思う。
- ・センターから発送される各団体からのチラシを電子ファイルで配布してほしい。メンバーに情報提供しやすくなる。
- ・センターから頂く情報の中にPDFファイルがあるが、メンバーに周知するために通信情報容量を下げたいのでぜひJPEGかWordかExcelにして欲しい。
- ・市民活動のための情報が一元化されている。
- ・センターや他ボランティア団体の研修、講演会情報を引き続き御周知いただきたい。
- ・市民活動センターの存在自体、認知度にばらつきがあることを感じている。
- ・クラウドファンディングの学習会。
- ・「伝えるコツ」などとても大切なことなので今後もセミナー企画をお願いしたい。
- ・他団体の情報など。
- ・個人の努力では集めることのできない情報の提供。

f. ネットワーク作り

- ・活動と顔の見える関係があるとつながりやすい。
- ・一般の人(非活動者)とのネットワークがほしい。
- ・グループ同士のつながる仕組が、不足している。交流会や情報交換の場が不足している。
- ・同種の他団体、ボランティアを希望する施設と交流。
- ・各団体のPR(プレゼン)が出来るような交流会。
- ・気楽に話そう会みたいなの。どんな事しているのか？できるのか？現場で少し見学会、体験会。
- ・登録団体説明会での「交流会」が楽しみ。しかし当日は慌ただしい雰囲気なので、もっと工夫して欲しい。
- ・団体が互いに講師になり活動の中で見えて来た社会課題を共有する場など。

(4) 豊田市の市民活動団体の皆様のおかげで、令和3年10月にセンターは20周年を迎えます。20周年にあたり、どんな記念事業を行いたいですか。具体的に教えてください。

広報・記録

- ・今の状況を記録できるとよい(映像？レポート？統計？)
- ・20周年を迎えるPR動画を作る
- ・記念誌
- ・20年でたくさんの登録団体がうまれたことと思う。その団体のPR動画を作ったり、活動の報告をHPだけでなくテレビやラジオなどで幅広くみなさんの活動を知らせていったりするのはどうか
- ・トヨシバにみんな集まって写真撮影(→広報とよたの表紙に…)
- ・式典

イベント

- ・ステージにてライブコンサート
- ・チャリティバザー
- ・フリーマーケット、ハンドメイドマルシェなど、集客ができるイベントの開催
- ・活動センターのPR、また活動団体の紹介も兼ねての「市民祭り」開催。大掛かりに、外に向けて発信する(身近な人が様々な目的を持ち活動していることを広く知ってもらうことで、必要としている方との出会いや発見、また新たな事業へのきっかけになるのでは)
- ・豊田スタジアムやスカイホールでの大規模イベント
- ・数年前にあった市民活動フェスタみたいなもの
- ・活動団体の展示ブース、体験ブース、出店、来場者が体験したり、展示ブースのクイズに答えてのスタンプラリー
- ・イベントに最後まで参加した人たちでお楽しみビンゴゲーム
- ・一般市民の方が、市民活動団体の活動が気軽に見学できるもの(例 各団体がミニブースを設け活動展示)
- ① 子どもさんが喜ぶ展示やゲーム や ②各団体からの提供をいただける来場記念品 などで集客
- ・あそべるとよたの全会場を全登録団体が割り振って活動みせまSHOW!!
- ・数ある登録団体を、活動別に一挙に体験できる時間があると楽しいと思う
- 特に小さいお子さんを持つ保護者は、どの教室・団体も興味があり体験したいと思っているが、日程の調整に苦労するため一日で体験できると嬉しいと思う
- ・「市民活動アンテナショップ～展示・体験・即売会」
- 市民活動の紹介を兼ねて、市民活動によりできた物産販売や活動体験機会(体験参加チケット)を提供する
- 豊田市のビックイベントに合わせて市駅広場で
- ・1ヵ月(週末4回)ほどかけて、活動紹介のイベント的なものを(市民に知ってもらうため)やりたい。トヨタ労組との連携が必要では？
- ・私たちは活動の場がステージになるため、音楽、映像、舞踊などコラボして芸術のステージを創ることができたら！
- ・活動状況(水石文化の発信等)紹介コーナーを設けたい
- ・全団体のPRの場を持ってほしい
- ・内輪だけでなく外から人が呼べるもの。立地がいいのにもったいない

- ・登録団体の活動報告や発表ができる機会があると、他団体との交流をはかる良い機会になったり、活動のPRする機会となると思う。また、センターの存在を市民の皆にアピールできる機会があるとよいと思う(知らない人の方が多い…)
- ・市の各部署との連携のきっかけとなるイベント
- ・シニアのためのフェスのようなこと
- ・赤ちゃんからお年寄りまで楽しめるようなイベントがしたい
- ・たくさんの子の親子の記念に残る作品作り、思い出作り

交流会

- ・登録団体大集合で交歓会、パーティー
- ・みんなの取り組みが活かせるような交流会
- ・活動団体と一般市民との交流会(PR 及び展示)
- ・会活動ジャンル別の交流会…子供 高齢者 障害者etc
- ・これからの20年後を語り合う「豊田のミライ20」
- ・団体の交流会のファシリテーションを担当させてもらえると嬉しい

講演会

- ・ボランティア関連の講演会
- ・センター主催の場合 登録団体向けの分科会と会費制の懇親会
- ・発達障がい特化した、講演会
- ・市民のための図書館とは？を広く市民の方たちと考える講演会を開きたい。図書館はまち育て・人育の拠点であることを伝える・考える機会を作りたい
- ・社会が少子高齢化や不景気で、定年後も働く人、子育て中でも仕事に出る人が増える傾向が強まっていく。社会課題は増えるが、市民活動がんばっていた層は減っていくのでは、と危惧している。新しい時間の市民活動(人の生き方)について考える機会になるようなシンポジウム、分科会など

映画会

- ・活動ミニミニ映画会
- ・各方面に渡る映画観賞会 子育て関係なら、「みんなの学校」など

展示

- ・豊田市駅前を中心とした文化展
- ・各登録団体のこれからの夢を描いたものを展示してはどうか
(これまでは、これらのことをしてきたが、これからは、このようなことをやっていきたい)
- ・活動センターの事を、たくさんの方々に知ってもらい、活動センターへ登録している団体が、どんな事をしているか、どのような団体があるかがわかるような、内容をまとめた物を、各団体で作成してもらい、展示する
- ・団体が活動の年表を作る
- ・20年間の市民活動の変遷がわかるような企画展示。情報提供をくださった市民等が集まったミニ座談会・ワークショップなど

団体紹介

- ・15~20年と永く登録し活動している団体の紹介とイベント開催
- ・長く活動して発展成長している団体の紹介
- ・どんな団体があるか知りたい
- ・市民活動センターの方が紹介したい活動、団体、取り組みについて表彰や一押しポイントなど記念行事で、紹介頂きたい
- ・センターの方が選んだ数団体のドキュメンタリー
- ・団体PR。団体どうしのつながりがもてるもの。一般の方に伝わるように

事業

- ・登録団体の活動交換留学(事前)→こぼれはなし発表(当日)
- ・1日に集約すると参加できないグループも出てくるので、体験月間のような期間を作り参加団体が普段の活動時間帯の中で市民に見学、体験の形で参加してもらったり知ってもらったり出来るようにしてはどうか
- ・子供達や大人向けの事前アート鑑賞講座を行った後、豊田市美術館で本物の作品を鑑賞する「1日アート鑑賞体験ツアー」を実施したい
とよた市民活動センターの施設を利用し、外に向けた気軽なアート鑑賞講座を開催し、美術館の学芸員に講座の講師を依頼したい
- ・山・川・海が生活に密着してる事が体験できる事業。
例)カヌーによる川下りで矢作川を知るイベント。
- ・自団体主催の場合 規模の大きい「ふらっとルーム」(活動センターを最大限に活用したふれあい交流事業)
- ・縄文時代から、現代までの豊田市の歴史のランドマークスポットを市民の方々が巡るバスツアーを企画してはどうか。外国人の方々も一定数含め(豊田市ほど、歴史、文化、自然、と技術の豊かな町はない。市民に知ってもらいたい)
- ・20歳、40歳、60歳、80歳、100歳の市民を招待して、あるテーマを決めたワークショップ

他の町の活動を知る

- ・他の町の活動状況の紹介と交流
- ・活動の体験発表(自町、他町)

その他

- ・市民活動センターと起業・ボランティアとのつながりを強化・継続を持つ機会とできるような記念事業を実施してほしい
- ・社会福祉協議会、男女共同参画センター、青少年センター等とのコラボレーション等??
- ・現状把握(今の社会、豊田市、様々な活動から見えてくる課題&希望~全体像の把握や見直し、方向性等を知れる話)について、自分達の活動ばかりに目がいってしまう。市民活動を通して、どういう社会を作っていくか…講演会、分科会、市民、企業、学校、行政…等との交流&マッチング…種まき&つながりのきっかけづくり
- ・センターの活動団体には、福祉系、共助啓の団体が数多くある。これら有志の活動がさらに発展するような企画を期待したい。豊田市の弱点の一つが、名古屋市などと比較して「福祉が行き届かない」と言う声を聞く
- ・市民活動センターさまへ10周年記念行事と同等で計画されたらどうか。当時、色々な方々との反省会で良かった点や悪かった点等、ご意見がたくさん出されたと思う。意見を改善し反映され、次のステップへバージョンアップされてみては?
- ・ボランティア活動を、みる、しる、やってみる活動
- ・豊田市は、昔から市民の自発的な市民活動が盛んであるという印象。記念行事では市民活動とは何なのか(交流館の自主グ

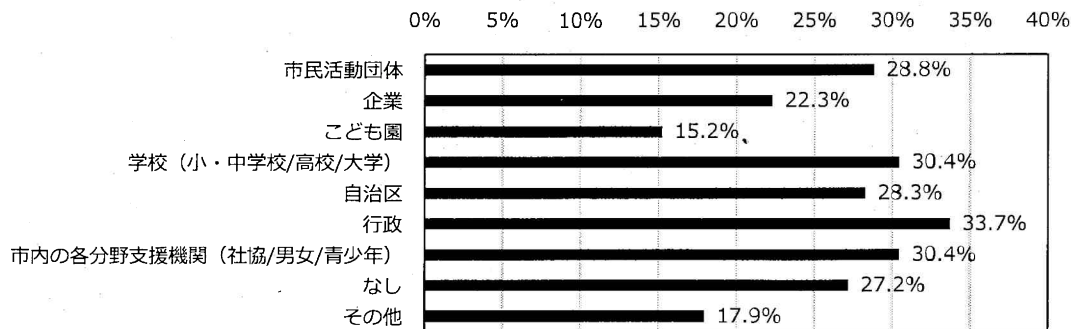
ループと何が違うのかなど役割が分かると良い)、それが活発になることがこれからの時代にどう影響するのか、どう不可欠なのか、などが感じられるものがあるといいなあと思う(掲示でも講演会でも)

- ・20周年記念事業は原点に戻り全団体と本音で話し合う場にしたい
- ・SNS開設支援を行う
- ・団体から、記念事業を推進する委員を募集して、その委員会を中心にして、各団体へ呼びかけ、協力してもらい体制の基に進めていかれたらと思う
- ・バルーンアートでお手伝いすることがあれば協力したい。活動センターOPENの時もバルーンでかざったので、20年前の写真もあわせて展示できると広がる
- ・行事に当たり、センターが超絶大変になるのではなく、団体が大いに盛り上がる方向で開催出来たらよいなとも思う(過去の様子を見ると難しいかもしれないが…)
- ・市民活動登録とボラ連登録に、どのような違いがあるのかよく理解できない。できること、できないことのボーダーラインを教えてください

5 共働について教えてください

(1) これまでに協力・連携を行ったことがある組織を教えてください(複数回答可)

全体 (N=184)

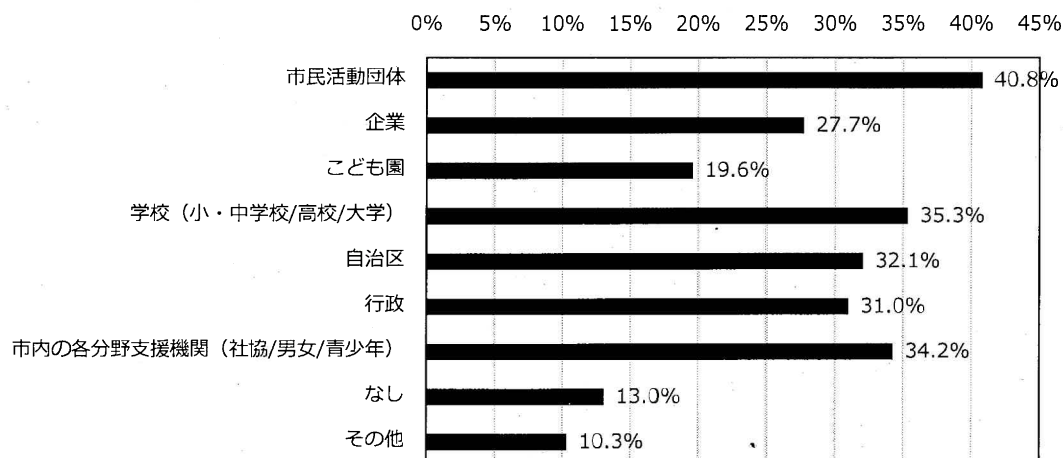


(2) 具体的にどのような協力・連携を行ったか(現在行っているか)、代表的なものを2つ教えてください

いつ、誰と	どんなことをした	その結果&効果	改善点・困った点など
とある小学校	小学校4年生(1/2成人式にちなんだ)命の授業	1クラスに講師3人ずつ入り2クール計4クラス授業	市民活動団体なら無料で依頼できると思ったようで、今回は、と受けたが次年度以降依頼なし。依頼なら、正規値段を請求するのは市民活動でも当然と思うが、社会的にはそのあたりが違うようでつらい。
イルミネーションストーリーinとよた 市内高校部活動	イルミネーションの装飾作り(ミライミラー) イルミネーションの点灯式	自分の住む豊田市をさらに好きになってもらうことができた	担当の教師によって協力体制が変わる
H24~豊田市動物愛護センター	地域猫活動支援	動物愛護啓発&生活環境の改善 現在、192ヶ所で実施中	取り組みに消極的な自治会、区長
他市	イベントでお話していただくなど、イベントや防災訓練での参加要請	お互いへの信頼が生まれた	担当が変わらないか毎年心配
平成24年(2012)頃から、障がい当事者、研究者(大学、研究機関)、行政(交通政策課)	とよたおいでんバス コミュニケーション研修	・車いす利用者に接する苦手意識を軽減することができた ・そのほかの障がい(知的・精神など)にも興味を持ってもらえるようになった	受け入れてもらうことが大変。
2002年度~2016年度 市内企業	普段経験できない事を障がいを持った方・健常の方と協力して挑戦するプログラム(乗馬体験、料理教室、バーベキューなど)	企業の職員さんが、ボランティアでかかわってくれるようになった。	企業さんの方針が変わってしまい、企画終了となった。
こども園の園長	子どもが使う椅子を高齢者が製作している。	高齢者の生きがいがつくれた	まだやり始めなのでこれからです。
市内高校部活動	子どもと達と一緒に豊田市内を探検	子ども達にきき添うことで見守る難しさを学んだ 学校(部活)のPRができ、次のイベントにつながった	初めての試みだったので今後の改善点は学生と協議中
県農業普及課、市農政課	農業後継者養成、イノシシ柵設置	人材養成の体制がととのう、動物被害の減少	まだまだ資金がたりない

(3) 今後どんな組織と協力・連携していきたいと考えていますか？

全体 (N=184)



(4) (3)で選んだ組織と、どのような協力・連携を行っていききたいと考えていますか？

組織名	協力・連携
市民活動団体	同様な活動組織の良い点を学びたい
市民活動団体	SDGsを進めていきたい団体さんと交流したり、SDGsに関する研修会を行いたい
ボランティア団体	ボランティア団体の技術などを学ぶ。
シニア団体	婚活ボランティア募集(人生経験を元にアドバイス)
企業	協賛金や連携して事業開催
企業	若者の就労に向けた職場体験、就労の受入れ
企業	企業の夏まつり等への出展
企業各会社	外国の方との接し方、ボランティアの共有、協力
こども園	親子でふれ合いあそび
こども園	こども達との身体を使った遊びイベントの企画運営。
学校	学生の方へボランティア活動の場を提供する
小中学校	イベント開催時のチラシの掲示の協力
中学校、高校	不登校、中途退学者の情報共有による自立支援
大学生	会場ボランティア、ミーティングから関わってもらう。
自治区	老人会等への出演
自治区	わくわく事業を利用し、地域の人たちの余暇活動をサポートする
自治区	災害等で避難することが起こる前に、避難訓練等一緒に行い準備して混乱をなるべく軽くしたい
自治区	イベントの協働開催による地域の活性化
自治区	住民トラブルに発展する前に意識を高めるための回覧などの協力をしてほしい
行政	ボランティアが必要な市民について情報提供いただく
豊田市教育委員会	学校の働き方改革の推進サポート(提案中)
社会福祉協議会	精神保健福祉ボランティアの養成講座を開いてほしい。
青少年センター	イベント時のボランティアスタッフとして関わりたい方や団体を紹介してほしい

6 その他ご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

要望

- ・LINE公式アカウントを活用した情報発信術の講座を再度開催してほしい。
- ・部屋の予約をネットで出来るようになると便利。
- ・広報の掲載依頼にあたり、3か月前にお部屋を確保しなければいけない為、交流館を使用してのイベント告知ができない。交流館とも連携を図っていただく柔軟さを持っていただけると助かる。
- ・部屋の予約確保には毎回苦労する。研修室不可の場合、会議室も不可の場合、他施設を探す。過去に後発団体と競合し、やむを得ず実施曜日を変更せざるをえず、曜日変更で数名の退会を出した。年間予約とは別に、定期的に利用する団体には、活動実態を見て先行予約ができると助かる(交流館の登録団体の先行予約方式)。
- ・豊田市中心部以外(南部や北東部)にも、無料でお借りできる場所があると嬉しい。
- ・市民活動情報サイトについては、見づらさや入力情報の重複や使いづらさが気になるので改善希望。
- ・駐車場が3時間以内で出入するのが落ちつかないため、5時間まで無料としていただけると、もっと集中できるかと思う。
- ・相談する場所がわからない、知らない。相談窓口の周知が必要である。
- ・市民の多くがトヨタ系労組の組合員のため、うまく連携して、市民活動の情報がトヨタ系社員にしっかり伝わるようにしてほしい。
- ・当団体はまだ1年と入り口に立ったばかりで何を取り入れたら良いのか要領が分からない。私たちの活動の向上につながるご提案、情報等があれば、ダイレクトにお伝え願いたい。
- ・活動団体は規模も内容も様々で、まとめるのは難しいと思うが、20周年に向け様々な団体の認知と他とのマッチングを目的とした動きがあればな、と思っている。
- ・もっと、市民活動団体が増えるといいなあつと思う。

アンケートについて

- ・このアンケートは工数が結構かかった。ちょっとは活かされますように…祈ります
- ・アンケートにて資金について多数設問があったが、当方はボランティア団体の為資金は必要としない考え。
- ・当団体の活動は事業運営と多少異なるため、アンケート回答には苦慮する個所が多々あった。

良い点

- ・幼児・こども園・小学校・デイサービス・老人会などにボランティア活動の場が広がり、年間多くの活動をしている。練習場所として無料で部屋が使用できることに感謝している。資金のないグループには大変ありがたい。
- ・ガイドブックに載せて頂くと、信頼とPRの効果が有り、継続し登録している。
- ・チラシの配布(センターから各団体への月末発送)をしていただきありがたかった。
- ・紹介して頂いている研修等は団体を継続するうえでとても役に立っている。
- ・社協や市民活動センターに登録し活動することで、多方面(日進やお寺、子ども園等)から依頼が多く来て、有り難い。また、小学生(←放課後児童の所で月1回演奏していることから)、中学生の会員も増え、安定した活動ができている。
- ・センターがあり、情報を発信して下さっているの助かる。豊田は本当に恵まれた市です。
- ・市民の公益的諸活動へのご支援をいただき、感謝いたします。市民の一人として、市民の福祉充実や生涯学習などがさらに充実することを願っています。
- ・日頃から職員の方が市民目線でいいいに対応して下さい、大変ありがたい。
- ・団体の自立に向かう過程で、場所などの提供や情報の受発信、担当の方に色々相談に乗っていただいたり、イベントなどの機会提供、共働事業などなど、市民活動センターが無ければ一から自分でやるのはとても難しかったと考える。センターには今後も市民活動の力強い味方としてあり続けてほしい。
- ・センターには「こうしたい、こうなればいいな」という思いを、具体的に支援してもらっていると感じている。会としては、行政と何らかのつながりを持ち、連携、協力し音楽の力でお役に立てればと思っている。そのためのパイプ役になっていただけると嬉しい。
- ・これからも親と子の「えがお」が増やせるよう、頑張っていきたいと思う。
- ・市民活動センターさんは、限られた「人、モノ、金」を最大限活用し頑張っておられるので感謝している。今後も、ご指導ご支援をよろしく願います。

団体内でのこと

- ・来年は、会創立15年を迎え、会員の高齢化もともなって、節目として活動について話し合い予定。
- ・我々は組合という組織上、ボランティアにも制限されるが、目先の問題はメンバーの高齢化と後継者不足が課題。将来的にボランティアの意識を向上させるためにも、子供のころから自然にボランティアに溶け込める環境から取り組んでいけたら良いなと思う。
- ・その子供たちが30歳、40歳になった頃に当たり前のようにボランティアが出来るように…
- ・小、中学校から依頼をいただいたが放課後なので主婦として出にくくてお断りしてしまった。

その他

- ・センターを活動状況の発信の場として利用している。多くの方にサイトを見ていただき、拡散を期待したい。
- ・団体登録当初、「最初の一步」補助金を狙って、プレゼンテーションに参加し発表したが、落選した。がっかりしそれ以来、補助金は当てにせず活動している。
- ・補助金が決まっており、その中で自主事業を行うだけでも大変な所、各イベントへ支出する補助金もあり、特に、警備費用が莫大。今後続行する為の計画が必要。ボランティア様のお力添えはその意味において大変重要なので、皆様よろしくお願い致します。
- ・特別、共働したり連携したりというのはなかなか余裕がないが、30数年続けてきたことで伝えられることがあれば、どんな団体にも話したり、場の提供はできるのかな、と思っている。自分の団体を継続していくというより、いいい人に人と関わり、アメーバ状のつながりができれば、と思っている。
- ・以前に出ていた話だが、市民活動センターを利用している団体からの企画等、市民活動センターで行える活動(広報、交流等)をまとめて、活動できる組織を作るとよいと思う。このための話し合う場を設定して、つくり上げる努力が必要だと思う。
- ・福岡にある「子どもNPOセンター福岡」に以前から注目している。子育て支援中心の市民活動センターのような位置づけでしょうか。豊田でも、このような活動が出来ないだろうかと思えます。
- ・最近の若者に期待している。変化についていくのが早いのでやり方を見直したりするのにコミュニケーションをとってみると気づきや学ぶ事が多い。対等に話せる仲間づくりがキーワードな気がしている。それぞれの得意不得意を隠さずに補い合える関係を築けたらいいなと思う。
- ・第4次産業革命(Iot, AI応用)の時代である。そのツールを活用した情報発信、ボラ活動をしていくべきである。
- ・団体の活動を、こども園や学校、その他の機関にプレゼン・連携できる機会等があれば是非参加したい。

令和元年度
とよた市民活動センター登録団体アンケート調査
【結果報告書】

発行年月：令和元年10月

発行：豊田市

編集：とよた市民活動センター
